

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第8回 大平地域会議
開催日時	令和7年1月23日(木) 午後6時30分 開会 午後7時40分 閉会
開催場所	プラッツおおひら 2階 多目的ルームA
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 栃木市文化財保存活用地域計画について〔情報提供〕(文化課) (2) 地域自治制度の新制度移行について〔報告〕(地域政策課) 4 その他 5 閉会
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	1 開会 本日の内容に地域自治制度の件がありますので、実働組織の方々にも一緒に聞いて情報共有していただきたく、あらかじめ藤野会長のご了承をいただいたうえで、大平わいわいテラスの2名の方にもご出席いただいています。よろしくお願いします。
会長	2 会長あいさつ
会長	3 議事 (1) 栃木市文化財保存活用地域計画について〔情報提供〕(文化課)
文化課	〔資料に基づき説明〕
A委員	文化財の神社仏閣の銅板が盗難される事件があると聞いたことがあります。文化財を「守る」というのは、盗難のような犯罪から守るといった意味も含まれるのでしょうか。
文化課	そのとおりです。文化財を、物理的な劣化等から守るために補修等で保存維持するとの意味だけでなく、防犯の面も含めて守るものと考えています。計画に盛り込む

	具体的な対応策等は今後検討していくものとなります。
B 委員	本計画作成の背景の欄で、「文化財に求められる役割、例えば観光資源としての役割などの期待は増大…」とありますが、具体的にはどのようなことでしょうか。
文化課	例えば、史跡を公園として保存活用したり、建造物を飲食店として利用したりするなど、地域の方々や民間の力もいただきながら、観光資源として活用しつつ保存もしていくことをイメージしています。
文化課	(文化課 退席)
	(2) 地域自治制度の新制度移行について〔報告〕(地域政策課)
地域政策課	〔資料に基づき説明〕
C 委員	実働組織と地域会議の共同提案の件について。実働組織では年度初めに事業を計画して活動しています。一方では地域予算の提案スケジュールもあると思います。そのあたりの兼ね合いについては、どのような考えでしょうか。
地域政策課	今後は必ず共同提案にしてくださいということではありません。実働組織への補助事業である「地域づくり応援補助金」と地域会議で検討する「地域予算」の両制度の有効的な両立を図れるよう、あくまでも一つの方法として共同提案という方法も認める運用に見直すというものです。 今までどおりの方法でも、もちろん構いません。 事業化までのスケジュール感については、確かに地域予算は市の事業として執行するものであり、早くても提案年度の翌年度に実施というサイクルになってしまうことは、申し訳ありませんがご理解いただければと思います。 補足になりますが、小学校への防犯カメラ設置など、ひとつの地域だけの課題ではないと思われるものであれば、他の地域会議との共同提案も認める運用に見直されます。
実働組織 A 氏	共同提案の件について。資料の例ではイベント事業を共同提案して、市が採択して「委託料」として予算計上され、実働組織が受託する流れとなっています。実働組織以外が受託する場合も考えられるのでしょうか。 また、執行内容が補助金のような性格であれば、「補助金」としての予算計上もあり得るのでしょうか。
地域政策課	市が事務局や実行委員会を担う場合は、地域予算の対象とならないこととなります。しかし、地域会議、実働組織、市職員の協働でイベント事務局や実行委員会を組織して実施する場合は、地域予算の対象となります。 よって、共同提案例示の受託者は、この協働で組織された実行委員会という場合もあり得ます。 運用の見直しでありケースバイケースになる面もあると思いますので、運用してみても疑義があればその都度事務局等に相談していただきたいと思います。

事務局	なお、今回の制度見直しに合わせて、手引きやマニュアルの整合等の見直しも行ないました。新年度になるかと思いますが、委員の皆さまに配付等してお知らせしようと思っています。 また、補助金としての予算計上については、市全体として補助金という性格の支出を削減する方向ですので、共同提案を補助金として予算計上することは考えておりません。 4 その他 (1) 令和6年度栃木市地域自治交流会の開催について [事務局より説明] (2) 大平地域会議だよりについて（連絡） [事務局より説明] (3) 次回 大平地域会議 令和7年3月19日(水)午後6時30分から プラッツおおひら 2階 多目的ルームA
実働組織A氏	[実働組織より今後のイベントや活動の紹介] ・令和7年1月26日(日) わいわいクラフト広場 バラエティー 開催予定 (主催事業) ・令和7年3月9日(日) くららフェスタ2025 出展参加予定 (世間遺産の活動展示) ・令和7年4月5日(土) SAKURAフェス2025 開催予定 (主催事業)
	5 閉会

別紙1 出席者、欠席者、事務局職員、その他出席者等

<委員> 出席13名／定員15名

出席	職	氏名	出席	職	氏名
○	会長	藤野 晴彦		副会長	藤倉 竜広
○	委員	青木 理恵	○	委員	阿部 誠
○	委員	荒山 菜穂子	○	委員	伊藤 政博
○	委員	植原 瑞恵		委員	尾花 正人
○	委員	川田 健太郎	○	委員	小堀 和子
○	委員	清水 泰子	○	委員	田村 誠志
○	委員	仲三河 マコト	○	委員	三井 健
○	委員	柳田 和子			

<事務局>

出席	職	氏名
○	大平地域まちづくりセンター 所長（大平地域づくり推進課 課長）	小島 清
○	大平地域まちづくりセンター（大平地域づくり推進課 副主幹）	牧島 聡
○	大平地域まちづくりセンター（大平地域づくり推進課 主査）	三浦 正明
○	大平地域まちづくりセンター（大平地域づくり推進課 主査）	山口 友香

<その他出席者等>

氏名	備考
口川 真	文化課 文化財係 主事
鈴木 邦彦	地域政策課 課長
【2名】	認定まちづくり実働組織 大平わいわいテラス